

(1)2022年3月発行(第36号)

記念式典のご案内

【開催日時】2022年3月8日(土)
受付開始 13時30分
式典開始 14時
祝賀会 16時~18時

【会場】OB総会・式典祝賀会場
大宮支店(大宮駅前ビル)1階
大宮支店(大宮駅前ビル)1階

【記念講演】
明治大学学長(政治経済学部教授) 大六野 耕作氏
1977年法学部卒

【会費】無料
着付や着替えが多いため、袋を整理して持ち込みの周年式典(無料)です。
※当日の着付けや着替えの料金は別途です。
【式典参加者配布品】
当日参加者は、130周年記念品を贈呈します。
※尚、着付け金を納入され、当日不参加の方は、別途ご連絡ください。
【申込】3月4日(金)まで
申込先：事務局(〒113-8501 東京都文京区本郷1-1-1) 郵送いたします。

Since 1890 明治大学 雄辯部OB会報

2022年3月 第36号発行 明治大学雄弁部OB会

駿河台10号館部室

令和3年度定時総会、130周年記念式典のご案内

2022年5月28日開催!

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、皆様におかれましては、周りの方々との会話、行動の制限等を余儀なくされているものと推察いたします。コロナ禍では、人の働き方も、人の行動も、考えも多様化して混沌としていますが、私達OB会は、生涯学習「レカレン」として、雄弁とは何かを絶えず問い続け、活動する恵まれた環境にあるのではないのでしょうか。コロナに起因して、再三延期しましたOB会の活動基盤である総会、伝統の重みである記念式典を、コロナ感染予防を徹底して開催するよう、準備を進めております。

総会では昨年10月に暫定的に発足しました会長、副会長等の役員選任決議、令和3年度の会計報告と、令和4年度の予算案等をお示し、皆様の議決を頂く所存です。

式典では学長講演の他、現役生との歓談、応援団のエル等を企画していますので、同期、前後の方々にも声掛けされ、青春に想いを馳せてご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

明治大学雄弁部OB会 会長 富水流孝二

【会場のご案内】総会・式典、祝賀会

会場はコチラ
大学会館

会場はコチラ
大学会館

OB会費納入のお願い

雄弁部OB会の運営費は、皆さんからの会費でまかなわれています。つきましては、年会費(3千円)または終身会費(3万円)を、同封の郵便局振込取扱票にて納入いただくか又は以下の銀行口座にお振込ください。尚、130周年の寄付にしましては、同封の郵便局振込取扱票又は三菱UFJ専用口座までお願い致します。
※会費と寄付を区別するため、お手数ですが「終身会費」「寄付」など明記願います。

みずほ銀行 九段支店 口座種別:普通口座 口座番号:1505041 口座名義:明治大学雄弁部OB会	ゆうちょ銀行振替口座 口座記号:00180-8-128563 口座名義:明治大学雄弁部OB会	130周年寄付専用口座 三菱UFJ銀行 日野豊田支店 口座種別:普通口座 口座番号:0463325 口座名義:明治大学雄弁部OB会
--	--	---

OB短信

左記のOB会員がお亡くなりになりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

鈴木俊光(S26法卒) 21年3月逝去
小幡正雄(S41政経卒) 21年9月逝去
宮本勝利(S40法卒) 22年1月逝去

新メンバー紹介①

総会、130周年記念式典準備等をOB会会長 富水流孝二(S49法卒) 新メンバーで継続

新役員人事はOB会の豊富な人材を十分に生かして、組織の強化を図ると共に、これまでの常任幹事会の継続性を重要視しまして、決めさせてもらいました。

また時代は様々な団体にコーポレートガバナンスの強化を求めていることに鑑み、常任幹事会に可能な限り会計監査役員の参加を求め、意見を頂くことで監査態勢の強化を図ることにしました。

さらに、顧問・相談役は、退任希望等をも尊重しながら、顧問・相談役会の充実を願ひ、新たに複数人の方々に就任を依頼しました。

以上のような考えに基づく人事体制でウィズコロナが予想される時代の波を乗り越え、総会・式典開催等の準備を進めてまいりますので、今後ともご指導、ご支援の程、宜しくお願い致します。(裏面に続く)

OB会費納入のお願い

雄弁部OB会の運営費は、皆さんからの会費でまかなわれています。つきましては、年会費(3千円)または終身会費(3万円)を、同封の郵便局振込取扱票にて納入いただくか又は以下の銀行口座にお振込ください。尚、130周年の寄付にしましては、同封の郵便局振込取扱票又は三菱UFJ専用口座までお願い致します。
※会費と寄付を区別するため、お手数ですが「終身会費」「寄付」など明記願います。

2022年3月発行(第36号)(2)

新メンバー紹介② ~コロナにめげず新メンバーを加えて式典・総会開催へ~

副会長(財務会計及び事務局管理) 星善徳(S52政経卒)

この度、副会長を仰せつかりました星です。力不足ではありますが各位の支援のもと、お役に立つべく微力を尽くしてまいります。

まず、コロナ禍で延期になっている130周年式典を成功裏に開催するための準備に取り組みしてまいります。各位のご支援をお願いいたします。

OB会の役割は、現役部員の活動の支援、OB相互の親睦や相互啓発であると思っております。特に現役部員の活動支援においては時代とともに学生生活を取り巻く社会状況や関心を向ける方向性の変化が大きいと思われ、様々なコミュニケーションを図り、若き日の想いが蘇るような時間を共有したいと考えております。重ねて各位のご指導とご支援をお願い申し上げます。

副会長(式典担当・雄弁部長) 小西徳應(S55政経卒)

前執行部に続き2度目の副会長職を務めさせていただきます。小西です。

今期はこれまで3度にわたって延期されている創部130周年記念式典を実現させることは勿論ですが、ポストコロナ社会を見据えて、オンラインでは実現できないナマで伝えることの大切さ、その前提となる人と人とのつながりの重要性を多くの方が改めて認識するよう、広く社会に訴え、発信していくことが求められると考えています。OB会をそうした発信基地にすべく努力してまいります。

新体制を最大限支える所存ですが、政治経済学部長としての任務とバッティングすることも多々あります。この場をお借りし、皆さまのご支援をお願いいたします。

副会長(会報・広報担当) 徳増信哉(S60政経卒)

1981年昭和56年入部の徳増です。1890年(明治23年)創部の雄弁部史をひも解けば、前半は明治憲法下の大日本帝国、第二次世界大戦、戦後民主主義、後半が高度経済成長、バブル景気、大震災、そしてコロナ禍の激動期を歩んできました。ドイツの鉄血宰相ビスマルクは「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という名言を残しました。OB会に照らせば、それは自分たちの思い出話や武勇伝に浸ることではなく、後輩に少しでも参考になりそうな経験を客観化し、国内外や明治大学における雄弁部の歴史や時代史的な意義を語り継ぐことだと思います。

私は雄弁部長だった岡野加徳留先生から、フクス・ウェバーの「政治の倫理がしよせん悪をなす倫理である」という名言を感じながら「それにもかかわらず」と言い切る自信のある人間だけが政治への「天職」を持つことと史観を教わりました。「生誕130周年」として選歴を過ぎても「それにもかかわらず」の精神を肝に銘じて参ります。

副会長(担当年度別幹事統括) 板垣昌之(S61法卒)

小職は、山形に本社を置きながら、東京の仕事をメインにして建築鉄骨加工会社を営んでおります。

地方にあつては少子高齢化、デジタル化、グローバル化、コロナ禍の波が都会以上に押し寄せ、企業はESG革新を続けながら地域課題の解決に取り組むことが求められております。雄弁部時代の異質との出会いと多様な意見交換の経験は、自分の経営判断に至る岐路をいつも照らしてくれていると感じます。全国同志各位の奮闘に敬意をもちます。

2月常任幹事会より

本年度より事務局局長を務めさせていただきます宮本和(日11工卒)

日高会長時の記念誌編集委員の頃からOB会に関わり、若い若いと思ってきたもののOB会歴ではベテランとなってきました。

若手OB・現役生と先輩諸兄との懸け橋となり、会長を支えつつ、より円滑な会の運営に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願致します。

「リアル」と「リモート」を融合した幹事会を行いました。 2022.2.18

上段(右から) 山川幹事・佐野幹事 下段(左から) 徳増副会長・板垣副会長

左から 武智広報局長(現役)・藤川代表(現役)・小西副会長・富水流会長(現役)・萩田幹事・古本幹事・佐藤幹事・宮本事務局局長

現役活動報告

第131期代表 藤川太輝 (法学部2年)

雄弁部131期代表の藤川太輝です。本年度におきました。OB会19の猛威取らず、終息の兆し未だ見えぬ中、近づくを数えるまでに部勢が躍進を遂げたというところが特筆すべきところであらうと思えます。

また、昨年初夏の折にようやく対面活動の復活も遂げることができ、私も雄弁部が主催する紫紺杯も、今年は対面にて開催することが叶い、日時2月26日(土) 会場国立オリンピック記念青少年総合センター・セミナーホールで大成功

現役一同 現在在来たる133期新入生を迎えんと準備を鋭意進めており、130年余に渡って積み重ねられてきた雄弁部の魅力を大いに発信し、また活動もより一層盛り上げられるよう、尽力してまいります。今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い致します。

副会長(編集後記) 正直、無理かも...コロナ禍大きく変わる職場環境や業務に忙殺され記念式典行事延期・会計会報、正直、ギョッアップしたい気持ちに駆られる中、頑張ったのは口ずさむ校歌・紫紺の歌そして、雄弁部仲間・先輩諸兄の温かい励ましでした。私や同期の仲間が定年の時に、明治大学雄弁部へ及びOB会が存続・発展していることを願って、もう少し踏ん張ろうと思っております。130周年記念式典の成功のため、幹事の皆さんがやりやすい環境作りを努めます。 事務局 宮本和(日11政経卒)

明治大学雄弁部OB会報第36号 2022年3月発行 発行 明治大学雄弁部OB会事務局 大田区下池子5-1-28 15301倉林荘部内

●水色の枠線.....切れてはいけない要素(文字やロゴ等)をいれる範囲
●ピンクの枠線...仕上りのサイズ
●みどりの枠線...フチなし印刷にする場合、背景を伸ばす範囲

★★★ PDFに変換して入稿される場合 ★★★
「表示」>「スライドマスター」画面より色つきのガイド線を消してから変換してください

冊子のデータ製作について

- ・ページ数は表紙も含めた数になります
- ・データは1Pごとでも 見開きでも ご入稿頂けます
- ※見開きの場合はページ順どおりにご作成ください
- ・白紙のページがある場合は コメント欄にご指示ください